

避難地域薬局再開・薬剤師確保支援事業の概要について

資料 5

地元薬局の再開や民間企業による薬局進出が見込めない避難指示解除区域において、帰還住民への地域包括ケア・健康管理を実施できるNPO等による新規薬局開設を支援するとともに、既存薬局等薬剤師の地域包括ケアスキル習得を支援することで薬剤師の地域定着を図っていく。

(避難地域薬局開設支援事業)

(1) 協議会メンバー

- ①各町村役場
- ②地域医師会、医療機関等
- ③地域薬剤師会、福島県薬剤師会
- ④福島県立医科大学
- ⑤復興庁

事務局：薬務課
(地域医療課、相双保健福祉事務所)

(2) 協議事項

- ①開設する薬局に必要な機能の検討に関すること
- ②薬局開設者の選定に関すること
- ③その他、目的達成のために必要な事項

(イメージ)

NPO等設立等により薬局開設を促し、帰還住民への健康管理支援、地域包括ケア支援を実施し、さらなる住民帰還を促進させる。本薬局は、単なる調剤業務にとどまらず、住民の健康管理を主眼においた次世代型のモデル薬局を目指す。

新規薬局 (開設目標)

富岡町	1 施設
浪江町	1 施設
楢葉町	1 施設
飯館村	1 施設

(3) 各協議会で出された主な意見

【飯館村】

- ・震災前にあった薬局は撤退し、建物は村に寄付されている。
- ・保健師及び栄養士と薬剤師が連携して健康管理事業を行って欲しい。

【楢葉町】

- ・見守りを含めた在宅での残薬管理や患者への薬の教育を行って欲しい。

【富岡町】

- ・経営的に見ると、町村ごとではなく広域的に行わないと難しい。
- ・気軽に行くことができ、薬や健康食品の相談が出来る薬局が欲しい。
- ・通院前の住民の健康管理を行い、必要に応じて医師につないで欲しい。
- ・集会場などでの出前講座や介護用品の紹介などを行って欲しい。

【薬局開設協議会の開催状況】

	第1回	第2回	第3回
飯館村	H29.11.27 (医療機関と薬局 の現状)	H30.01.29 (薬局機能の検討)	H30.3 予定 (具体的な薬局 の要件の検討)
楢葉町	H29.12.04 (医療機関と薬局 の現状)	H30.01.30 (薬局機能の検討)	H30.3 予定 (具体的な薬局 の要件の検討)
富岡町	H29.12.25 (医療機関と薬局 の現状)	H30.02.28 予定 (薬局機能の検討)	—

(4) その他

浪江町については、協議会設立について同町が現在検討中。